

◆『令和8年度の指導方針について』

副校長・教育部長 有賀 浩

建学の精神、校訓を根本とし、「明るく笑顔で元気のよい挨拶を基調とした全人教育」そして「勉強と仕事を通して自己実現を図る」こと。グローバル社会に貢献するため、「プロフェッショナルとしての自信と誇りを持ち、確固たるアイデンティティを確立する」こと。これら本学における職業実践専門教育の土台となる教育理念（職業教育75周年、学校法人中村学園55周年、専門学校40周年を越えて、なお不変であること）を確と心に据える。

本年度より学校教育法改正に伴い、本学も「特定専門課程」となり、「単位制」へと移行する。さらに、本学で学ぶ皆さんが法律上も正式に「学生」として位置づけられ、「専門士」の称号や「大学編入学」への道も法制化された。これにより、高等教育機関としての本学の社会的役割はより強固なものとなった。社会人基礎力をベースに、学生一人ひとりが学びの目的を理解し、主体的にスキル・資格を修得する体制を一層強化する。産学官連携やフィールドスタディーを通じて視野を広げ、希少性の高い“人財”を育成するとともに、生涯学習機関としての支援も継続する。

本学が最も力注ぐ『産学官連携教育プログラム』『フィールドスタディー』により、各分野の最前線から直接指導を受け、評価を頂くことで、キャリアイメージを明確化しモチベーションを高める。これらの経験から見つけた課題を持ち帰り、アクティブラーニングで解決するPDCAサイクルにより、「創意進取の研鑽」と「クリエイティブな精神」を大いに培う。現代社会の変化に対応し、自ら課題を見つけ解決し、高い付加価値を創造する力量を伸ばすこと。校訓「技術は力なり 我は我が道を行く How to 人間ではなく Why 人間の養成」を具現化する礎を、修学期間中に一つでも多く身につけよう。

「CAN スカラシップ制度」に基づく N-Cap 生たちが他学生を巻き込み、切磋琢磨して社会性・専門性を高めていく。「ICT・エンターテイメント」と「福祉、医療、保育・幼児教育」のコラボレイトに加え、地域・ボランティア活動も一層充実させ、複合的な知識・見識を持つ人材を目指す。両専門学校共に、各界のプロや卒業生で構成する学校関係者評価委員会等を通じ、時代の変化とニーズを的確に受け取りカリキュラムを実践する。「中核的人材の育成」の期待に応えるべく、文部科学省委託事業等にも今年度もチャレンジしていく。

これまでに蓄積した教育ノウハウやオンライン教材を活用し、教職員・学生が一丸となって学事を進めていく。本年度、新たに「AI×DX プロデュース専攻科」を設置。これを牽引役としてAI活用とDX化を両専門学校全体のテーマとして推進する

グローバルな指標がSDGsから、より個人のウェルビーイング（幸福）と持続可能性を追求するSWGsへと進化し、AIが社会インフラとして定着する次世代を迎えている。単なる技術の習得にとどまらず、「時代を先読みし、それぞれの分野でAIやDXを駆使して新価値を創造できるプロフェッショナル」になるための着実な教育を実践し、その成果として優秀な人材を世の中に輩出する一年としたい。

*「職業実践専門課程」

専修学校の専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを、「職業実践専門課程」として文部科学大臣が認定して奨励することにより、専修学校の専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とするもの。平成26年度より新設された。本学園が設置する両専門学校全学科とも認定を受けている。



新入生へお祝いのメッセージ

教頭 富田 順子

新入学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから学園生活を送るみなさんに期待することは「自ら考え、失敗を恐れず積極的に行動すること」です。可能性に満ちあふれているみなさんは、新しく始まる学生生活に、希望に胸を膨らませているのではないのでしょうか？成人されこれまでとは異なり、何事にも自分で責任をもった行動が求められるようになります。その時々で、何をすべきでどうすることが適切か、自分で考え、主体的に行動する。こういった力が求められます。失敗することもあるかと思いますが、学生時代の失敗は、貴重な経験となり、皆さんをさらに成長させる糧となります。失敗を恐れず、様々なことにチャレンジしていきましょう。

また、「出会いを大切に」してください。学校生活で勉学に励むことはもちろんですが、それ以外で得られるものもたくさんあります。まずは出会いを大切にして、生涯にわたって助け合い支えあえる友だち、「心の友」をつくってください。

これから始まる、本学での新しい学校生活が充実したものとなることを祈っております。一緒に頑張りましょう。

専門学校静岡電子情報カレッジ

副校長 有賀 浩

新入学生のみなさん、ならびに保護者の皆様、ご入学誠にありがとうございます！

新しい環境での学生生活がいよいよスタートします。大きな期待とともに、多少の緊張や不安を抱えている方もいるかもしれませんが、大丈夫です。これから共に学んでいく仲間や我々教職員が、皆さんの学校生活をしっかりとサポートしていきます。本学での学生生活は、専門的なスキルを磨くだけでなく、人とのつながりを築く貴重な時間でもあります。同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨し、試行錯誤を繰り返す、自ら考え行動して、充実した日々を楽しんでください。

*ITゲーム&ロボットシステム学科

皆さんが目指すIT業界は今、AIの急速な進化とDXの波により、かつてないスピードで変化しています。これからは、単にプログラムを書く技術だけでなく、AIを賢いツールとして使いこなす、世の中に新しいソリューションを提供していく力が求められます。

次々と技術が生まれる時代だからこそ、変化を恐れず「学ぶことを楽しむ気持ち」を大切にしてください。わからないことはどんどん質問し、自ら進んで学ぶ姿勢を身につけましょう。仲間と協力しながら目の前の壁を乗り越えていくことで、これからのデジタル社会で活躍できる確かなスキルが、自然と皆さんの力になっていきます。

*音響&映像メディアクリエイト学科

近年、音楽や動画などのクリエイティブな世界にもAIが広く活用され始めています。しかし、エンターテイメントの根本は「人を感動させ、楽しませる」ことです。そこには、AIには読み取ることのできない人の気持ちや感情、そして熱意が不可欠です。現在、映像や音響の表現の場は大きく広がり、多様化しています。技術が高度に進歩した今だからこそ、豊かな感性や「人間らしさ」が何よりも求められているのです。また、一つの作品を作り上げるためには、周囲とのコミュニケーションやチームワークも欠かせません。人の考えや意見から学ぶことはたくさんあります。先生方や友人、そして外部の方々との関わり合いを大切に、自らの感性を磨きながら、誰かの心を動かすクリエイターへと成長できるよう、一緒に頑張ってください！

静岡福祉医療専門学校

総合福祉学科

学科長 井川 真世

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

総合福祉学科は、福祉界すべての分野において活躍できる総合的な相談援助の力量を持つ福祉介護職を育成することを目的としています。これから専門的な知識や技術を身につけていくこととなりますが、その中で「どうすれば人を笑顔にできるのか」を大切に考えていってください。それと同時に、「自分自身が笑顔でいられるためにはどうしたらよいか」という視点も忘れないでほしいと思います。

本学科では、地域での活動やボランティアなど、学外での経験も重視しています。学生生活の中で出会うさまざまな出来事が、皆さんを大きく成長させてくれるはずで。ぜひ、多くのことに積極的に挑戦してみてください。

「誰かの笑顔につながる仕事がしたい」という思いの実現に向けて、これから一緒に頑張っていきましょう。皆さんが実りある学生生活を送れるよう、私たちも力を尽くして支えていきます。共に、笑顔あふれる時間を築いていきましょう。

介護福祉学科

学科長 三嶋 秀子

ご入学おめでとうございます。

介護福祉学科は「共感性豊かで、専門的知識と技術に精通した介護福祉士の養成」を目指します。

確かな理論的基盤に立脚したコミュニケーション技術・基本的人権・専門的知識と技術の習得を行い、利用者様を尊重し、利用者様が安全で快適な生活を過ごせることができるよう、相手の気持ちや立場が理解できる介護福祉士を目指しましょう。そして、人間としても成長し、高い倫理観を持ち合わせた介護のプロを目指しましょう。

さらに、ビジネスマナー、ICT活用技法も身に付け、福祉現場で幅広く活躍できる人材を養成します。理想は高いですが、自主トレーニングや指導を濃密にし、友人や先輩・後輩との連携を図りながら、自己実現を図るため、少しずつ前進したいと考えています。

夢に向かって、楽しみながら一緒にがんばりましょう。



子ども心理学科

学科長 後藤 明子

新入生の皆さん 入学おめでとうございます。

子ども心理学科は「こどもたちの『こころ』と『からだ』の健やかな成長を見守り、あたたかいふれあいの『心』を大切にする保育士、幼稚園・保育教諭を育成する」という学生指導方針を根底に置き、さらに「専門職としての知識・技術の修得および子どもたちに何ができるのかを探究する学生」を本学科の目標とする学生像としています。保育者・幼児教育者となるために、まず、①挨拶②相手を思いやる気持ち③礼儀④規則正しい生活⑤行動力 を心がけてください。

また、3年間共に学び合う友人を大切にしてください。この業界は、「自分を大切にする」「周りの人も大切にすること」ができる人を望んでいます。自分と同じように周りにも心を持っています。そんなことに思いをはせながら、お互いに高め合う間柄になって欲しいと思っています。

子どもの未来を明るく照らせるような保育者・幼児教育者を目指して頑張りましょう。

視能訓練士学科

学科長 鈴木 ほまれ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

視能訓練士学科では、「自ら考え、行動できる視能訓練士」の育成を目指しています。視能訓練士は眼科医療を支えるコメディカルとして、正確な専門知識と技術はもちろん、常に患者様に寄り添い、思いやる姿勢が求められる職業です。眼科の現場では、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の患者様と関わります。特に、患者様の応答をもとに行う自覚的検査が多いため、正確な検査結果を導くには高いコミュニケーション力が不可欠です。

また、近年の臨床現場では医療DXの導入も進んでおり、本学科でも最新の知識や活用方法について学ぶ機会を設けるとともに、産学連携教育も取り入れています。

この3年間、さまざまな方々と積極的に関わりながら、最新の知識や技術に触れ、視能訓練士として必要な力を着実に身につけていきましょう。皆さん一人ひとりが「視能訓練士になる」という夢を実現できるよう、教職員一同、全力でサポートしてまいります。一緒に頑張りましょう。

4月の行事

1日(水) キッズハウスひかり「入園進級お祝いの会」

6日(月) 新入生オリエンテーション

10日(金) 在校生オリエンテーション

健康診断

入学式会場準備

11日(土) 始業式、入学式(森下町キャンパス)

13日(月) 在校生前期講義開始

新入生宿泊研修(御殿場)～15日(水)

16日(木) 新入生前期講義開始

学生会挨拶運動～22日(水)

25日(土) オープンキャンパス 13:15～

27日(月) 学生会選挙(昼休み)～28日(火)

29日(水) 昭和の日

30日(木) 卒業生を囲む会(電子)